

自然環境保全分野の国際協力の現状

自然環境保全分野における国際的課題	課題に関連する国際的枠組み	課題への国際的な取組（国際協力）の現状	
		環境省自然環境局の取組	JICA事業
生物多様性保全、全般	●生物多様性条約 ●カルタヘナ議定書	⇒ GEF(地球環境ファシリティ) CEPF(クリティカル・エコシステム・パートナーシップ基金) 生物多様性情報システム整備 バイオセーフティクリアリングハウス(J-BCH)整備 国際会議等参加	★インドネシア・チビノン生物多様性保全活動強化のための施設維持管理及び標本開発 ★ボルネオ生物多様性・生態系保全 JICA集団研修「生物多様性情報システム」
希少種保護	●ワシントン条約	⇒ ★日中トキ保護協力事業 ★UNESCAP北東アジア準地域環境協力プログラム(NEASPEC) 自然環境保全プロジェクト(大型ネコ科動物及び重要な渡り鳥保全) 国際会議等参加	
渡り鳥、湿地保全	●ラムサール条約 ●二国間渡り鳥等保護条約・協定(日米、日ロ、日豪、日中) ●日韓環境協力保護協定 ★東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップ	⇒ ★東南アジア湿地管理促進事業 ★日米アホウドリ共同調査 ★日中ズグロカモメ共同調査 ★フライウェイ重要生息地ネットワーク 国際湿地保全連合分担金 国際会議等参加	★モンゴル・湿原生態系保全と持続的利用のための集水域管理 メキシコ・ユカタン半島湿原保全 ★インドネシア・マングローブ情報センター計画 JICA集団研修「湿地の生態系・生物多様性の保全とその修復・再生及び賢明な利用」 JICA地域別研修「南東欧湿地保全」
世界遺産地域、保護地域	●世界遺産条約	⇒ IUCN拠出金(東アジア保護地域行動計画) 国際会議等参加	★インドネシア・グヌン・ハリムン・サラク国立公園管理計画 ★インドネシア・国立公園等管理 JICA集団研修「自然保護管理」
サンゴ礁保全	国際サンゴ礁イニシアティブ(ICRI)	⇒ ★東アジア海域地球規模サンゴ礁モニタリングネットワーク推進事業 パラオ共和国と共同でICRI事務局を担当(H17～H19) 国際会議等参加	パラオ国際サンゴ礁センター強化 ★インドネシア・北スラウェシ地域サンゴ礁管理計画調査 JICA集団研修「サンゴ礁保全」

凡例 ●：国際条約・協定 ★：アジア地域が対象

(事例) インドネシアにおける協力プロジェクト

インドネシア生物多様性保全プロジェクト

(フェーズ1) 1995～1998

- ・調査研究等の基盤として、主に無償資金協力による施設整備を実施

(フェーズ2) 1998～2003

- ・施設を活用した研究の推進、生物多様性データベース作成、情報処理システム開発、国立公園の保管理計画の策定、エコツーリズム、希少種保護、環境教育の支援等を推進

グヌン・ハリムン・サラク国立公園管理計画プロジェクト(2004年から5ヶ年計画)

- ・上記技術協力プロジェクト及び無償資金協力により得られた公園管理手法や生物多様性保全の技術をさらに充実。
- ・グヌン・ハリムン・サラク国立公園をモデルとして公園管理手法を確立させ、他の国立公園にも普及。

チビノン生物多様性保全活動強化のための施設維持管理及び標本開発プロジェクト(2007年から2ヶ年計画)

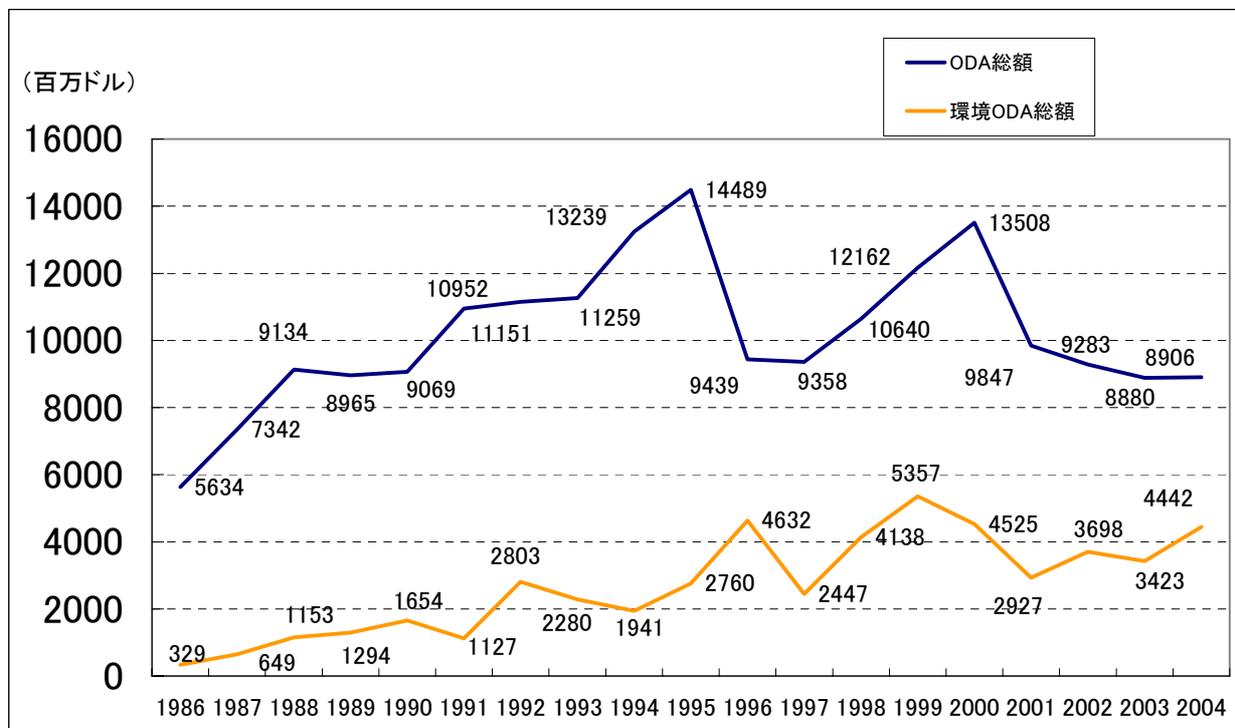
- ・インドネシアのボゴールにある植物標本等を保管している標本庫の適切な管理に協力。

生物多様性分野における海外技術協力プロジェクト概要（過去5年間：JICA資料を基に作成）

数字：プロジェクト数	生物多様性 政策・計画	湿地保全 渡り鳥保護	世界遺産 保護地域	海域 サンゴ礁	環境教育 その他
アジア 8	インドネシア (生物多様性保全計 画)	モンゴル (湿原生態系保全)	インドネシア・グヌハリムサ ラク (国立公園管理計画)	インドネシア (マングローブ情報)	中国 (林業生態研修)
	インドネシア・チビン (標本開発・施設管 理)			パラオ (サンゴ礁保全)	
	マレーシア・ホルネオ (生物多様性・生態系 保全)				
中南米 5		メキシコ・ユカタン半島 (沿岸湿地保全)	アルゼンチン・イグアス (自然環境保全)	エクアドル・ガラパゴス 諸島 (海洋環境保全)	ブラジル・東部アマゾン (森林・環境教育)
			パナマ・アスウェロ半島 (森林保護区)		
アフリカ 2				セネガル・サムールデルタ (マングローブ管理)	ケニア (野生生物保全教育)
中東・欧州 2			サウジアラビア (ビャクシン林保護)	オマーン (マングローブ林再生・保 全)	
17	3	2	4	5	3

※網掛けは施設の建設を伴うプロジェクト

日本のODAと環境ODAの実績



注：環境ODAには、自然環境、森林保全、公害対策、居住環境、防災、環境行政、海洋汚染、温暖化を含む。